

全 教	実教部NEWS	第127号 2022/7/15 発行
-----	---------	-----------------------

## 全国オンライン学習交流会報告

6月25日(土)に全教実習教員部主催オンライン学習交流会が開催され、8組織19名の参加がありました。昨年オンライン形式でおこなわれた第29回全国学習交流集会では「やはり参集型がいいね」という感想もあった一方で、子育て中の参加者や、忙しくてなかなか集まれないといった参加者から「オンライン形式も残して欲しい」という声もありました。今回はその要望に応えるため、初めての試みとして開催しました。

はじめに、魚住部長から「実習教員部運動をすすめていくにはチーム学校としてひとつにまとまるのが大事。学校教育や実験・実習においても、子どもたちのために教育がつながることを願います。本日は限られた時間ではありますが、有意義な時間となりますようお願いいたします」と挨拶がありました。次に全教中央執行副委員長・有馬さんからは「少しでも集まって交流できる時間が持てたらいいねという思いから、常任委員のみなさんが企画をしました。GIGAスクール構想による一人一台端末の導入は、実験・実習において五感を通じた学びを奪い、子どもたちの豊かな成長にも大きな影響を与えています。こういった問題も含め、本日は日頃の悩みや想いを語り合える時間になればいいなと願っております」と挨拶があり、その後分科会へと分かれましました。

### 分科会①「コレってどうなの？実習教員のお仕事」

理科・家庭科・工業・農業など様々な教科の先生方が参加し、自己紹介とともにそれぞれの職場や教科での悩みや課題などが語られました。「コロナ禍での実習について」「実習教員の仕事の線引きについて」「実習室の管理について」「障がい者枠雇用について」といった悩みに対して他府県の状況も交流しながら、情報共有をすることができました。



### 分科会②「工夫がいっぱい！実験実習交流」

青年教職員からベテランの先生まで幅広い年代の参加者が集まり、普段の実験・実習教育の実践や、コロナ禍においての実験・実習の工夫などが語られました。職場の実態に違いもあり、それぞれにあった工夫が語られ、もっと交流したいという感想や、実物を見せて説明をしたかったという感想もあり、10月8日～9日に岡山で開催される第30回全国学習交流集会での再会を願いました。



### 分科会③「詳しく知りたい！制度改革」

少数の参加ではあったものの、じっくりと制度改革について語り合うことができました。「学校長裁量によって仕事内容が変わる」「それぞれの学校や教職員の中での実習教員への理解の差」「障がい者枠という雇用形態への理解」といった課題があげられ、改めて教諭一元化に向けての運動や、それを広げるためにも組織強化・拡大が重要であると確認されました。



オンライン形式ということもあり、短い時間ではありましたが、その中でも様々な悩みを共有したり、情報交換をしたり、新たな要求を吸い上げることもでき、充実した時間を過ごすことができました。参加された先生方、本当にありがとうございました！



## 全国オンライン学習交流会

## 第3分科会 ～詳しく知りたい！制度改革～ 報告

参加者より現在の状況と課題について報告がありました。

「今年正規に任用され、情報と商業の免許は持っているため、本当は理科か家庭科だと思うが、校長からの委嘱で情報の担当となっており、さらに、図書館司書も持っているため、図書館の担当とされているため、業務がよくわからないのが現状です。問題なのはそのことを校長しか知らないということであり、学校裁量という言葉で片付けられてしまっていることだと思います。そして、学校が変われば内容が変わってしまうことです」ということでした。

教員の先生方も制度の事はほとんど知られていないので「助ける」という言葉により学校の都合の良いように使われてしまい、管理職自身が実習教員の事を解っていないところが根底にあるため、矛盾を感じる場合があります。「職務の明確化」によりICT関係の業務を教員の職務から外して、実習教員におしつけられる可能性も高いと思います。

様々な問題の解消のためには、制度改革として一本化するべきと考えられます。

しかしながら、学校ごとに実習教員は一人か二人であり仕事の中身がちがいが教諭一元化の活動はなかなか進んでいません。文科省は「『実習助手』は大切な職」と言っていますが、実態を解っていないので待遇の改善につながっていないのが現状です。

私たちは実験・実習のプロであり、教諭が知らないところまで知識や技量を高めていく必要があると思います。そこまでやらなくてもという意見もあり、適材適所でいいところもあるとは思いますが、制度改革を進めていくためには実態を把握したエビデンスが必要と感じています。

そして、集会や学習会などで声を集め実習教員のあり方について話し合い、職場で困る人がでないよう制度改革に向けて声をあげていく必要を確認ができた分科会でした。

## 第30回 全国学習交流集会開催のご案内

3年ぶりに全国学習交流集会を参集型で開催を予定しています。1日目は備前焼の体験、2日目は分科会での活動となっています。

久しぶりに集まって顔を合わせることができそうです。今回も で学習を深めたいと思います。教育実践や課題提起などたくさんレポートもお待ちしております。

多くの方のご参加よろしくお願いたします。



## 【参加申込みについて】

各組織に配布の申込用紙(全教専発 22-089)にて、

7月29日(金)までに、

全教本部までファックス(FAX 03-5211-0124)でお願いします。

